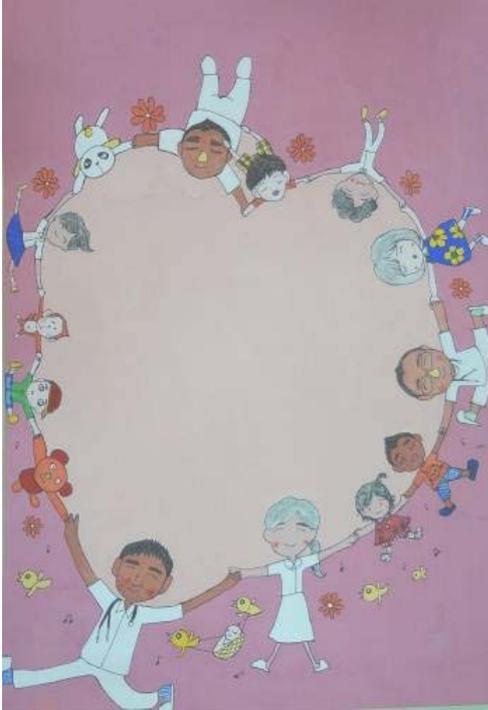


医療従事者募集ポスター入賞者決定！



最優秀賞には、中尾文子さまの
作品が、選ばれました！

中尾文子 さま
テーマ：私たちと一緒に心に
届く地域医療を

《住民と医療関係者が手をと
りあって、心（ハート）で
つながっているようなあたた
かく安心できる医療現場をつ
くって欲しい...そんな願
いをこめた作品です。》



発行責任者
隠岐広域連合立
隠岐病院長
隠岐の島町城北町

医療従事者募集ポスター 入賞者決定！

「医療従事者募集ポスター」募
集に三十八点の応募作品がよせ
られました。

隠岐病院医療従事者募集ポス
ター選考委員会による厳正な審
査の結果、最優秀作品一点ほか入
賞作品が次のとおり決定いたし
ました。

なお、受賞作品につきまして
は、県内の公共施設等への掲示も
予定しております。

たくさんのご応募ありがとうございます。
ございました。

最優秀賞 一点

中尾文子 様

テーマ

私たちと一緒に心に届く
地域医療を

《住民と医療関係者が手をと
りあって、心（ハート）でつ
ながっているようなあたたか
く安心できる医療現場をつ
くって欲しい...そんな願
いをこめた作品です。》

優秀賞 二点

古川まい 様（西郷中学三年）
長谷川喜映子・横地正一郎 様

まめなかの賞 十点

森川美和・三島夏穂 様
藤谷光 様（隠岐高二年）
谷里光優 様（中条小学一年）
原優樹 様（五箇小学一年）
今岡嵩 様（中条小学三年）
山田尊斗 様（中条小学三年）
鈴木雄登 様（中条小学三年）
藤田一晴 様（中条小学三年）
谷里遥佳 様（中条小学三年）
古岡志摩子 様

ご意見をお聞かせください

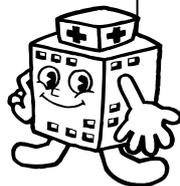
作品はホームページにも掲載してい
ます。是非アクセス下さい。

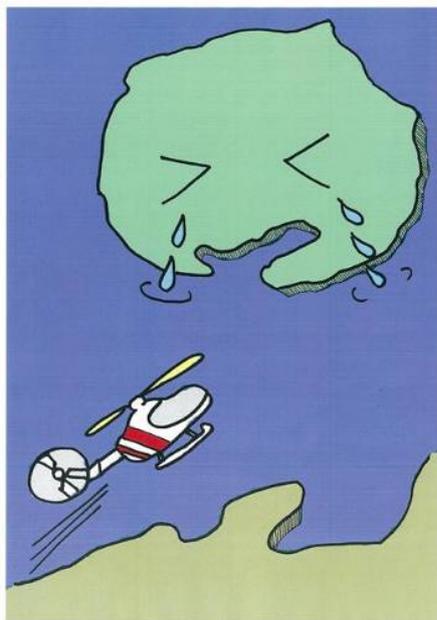
ホームページ

<http://oki-hospital.com>

メール

Info-okioki@oki-hospital.com





優秀賞

長谷川喜映子・横地正一郎 様
 テーマ：島の医療が泣いています
 《このままでは、島ごと沈んでしまいます。だれか助けてください。一緒に楽しく働きましょう》



優秀賞

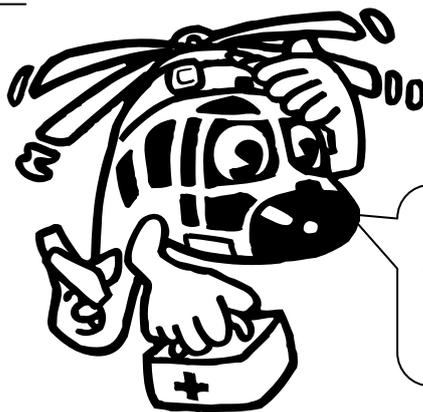
古川まい 様（西郷中学校3年）
 テーマ：一緒に働きませんか
 《笑顔で接する職員のみなさんの姿を書きました。H24年開院の病院とドクターヘリもアピールしました》

ドクターヘリ始動!

島根県ドクターヘリの運行が六月十三日始まりました。緊急患者への初動治療が充実すること、救命率のアップや後遺症の軽減などが期待できます。県立中央病院を基地病院とし、隠岐にも約四十分で到着します。また、医師不足が深刻な県西部の緊急医療の貢献にも期待されています。

島根県ドクターヘリは、最大巡航速度二百六十キロ、七人乗りで、人工呼吸器や除細動器、輸液ポンプなどの医療機器や医薬品を搭載。午前八時三十分、午後五時十五分、各消防機関からの要請によって出動します。専門的な訓練を受けたフライトドクターの医師、看護師が一人づつ乗って出動します。（県立中央病院には、訓練を受けた医師が七人、看護師が六人配属されているようです）

県内三百四十余に設けた臨時着陸場のうち、最寄りの場所に



島根県全域40分カバーします。

着陸。患者をはこんできた救急隊と合流し、その場で応急治療を施した後、受け入れ先となる病院に搬送します。病院間の転院搬送もします。

これまで、隠岐病院から本土の病院までの転院搬送は、県防災ヘリを利用して行ってきましたが、ドクターヘリでは手続きが簡略化され、要請から出動までの時間が、六分の一程度に短縮されることで、迅速に転院搬送されます。

マムシ・ハチ・ムカデ

にご用心!

当院救急外来には、この夏もマムシやムカデに咬まれた、ハチに刺されたと多くの方が受診されました。受診される際のワンプイントアドバイスを紹介いたしますのでご参考にして下さい。



・マムシについて

「何かに咬まれたら」と救急外来に駆け込んでこられる方もおられますが、まず何に咬まれたかを救急外来でたずねますので、よろしくお願いいたします。

また、かまれた部位より心臓側をきつくしばってこられる方が多いですが、適切な強さ、適切な道具でしばることが困難で



あるため、しばるべきではないというのが一般的なようです。

時間がたつと、咬まれたところから心臓にむかって腫れがひどくなったり、痛みが強くなったり、場合によっては命にかかわることもありまますので、マムシにかまれたらすぐに救急外来に受診して下さい。もつとも、マムシにかまれないことが一番ですが…。

以前にマムシ血清を打った人は、再度使用はできません。受診の際にお知らせください。

・ハチについて

ミツバチ、アシナガバチ、スズメバチなどが毒針でヒトを刺します。その部位に強い痛みを感じたあと、赤くなったり、腫れたりします。こうした反応は二、三日は悪化するものの一週間程度で治ります。

しかし、注意するのは、以前ハチに刺されたことがある人が、再度同じ種類のハチに刺されると、アレルギー反応で気分が悪くなったり、息苦しさを感ずることがあります。そのような場合は、一人で救急外来に受診しようとはせずに、周りの方と一緒に受診するようにして下さい。

これまでハチに刺されてこのような症状があったことのある人には、病院受診する前に自分で注射をして治療する注射キットの携行が勧められています。



・ムカデ

夜行性のためとくに夜間にかまれることが多いですが、ほとんどが咬まれた部位の痛み、発赤、腫れといった局所症状のみで、発熱やめまいといった全身症状のすることはまれです。

市販の抗ヒスタミン軟膏を塗ったり、市販の痛み止めを内服して数日中に治ることが多いですが、痛みなどが激しい場合や全身症状がでている場合は、救急外来を受診下さい。

落とし物、忘れ物をお預かりしています。

患者さまが来院されて、ロビーなどに忘れたものや落とされた物を預かっています。心当たりの方は総務課庶務係（内線 166）までお問い合わせください。

お預かりした日より 6 ヶ月は保管しています。

「糖尿病手帳」が

新しくなりました！



内科外来では、八月中旬より順次糖尿病で通院治療中の患者さまに新たな糖尿病手帳をお渡ししています。手帳の名前は、「糖尿病連携手帳」です。今までの手帳よりサイズが少し大きくなり、血糖値・血圧・肝機能・腎機能等の検査値だけでなく、

治療内容や網膜症、神経障害、腎症、動脈硬化、歯周病等の合併症の結果を二年分記入できるようにになっています。毎月の定期受診、数ヶ月〜一年毎の合併症の検査時、栄養相談や療養相談時には必ずお持ち下さい。

今年三月十一日発生の東日本大震災では特に薬物療法（内服薬、インスリン注射）をしておられる糖尿病の患者さまは、大変な思いをされたと聞きました。津波により、医療機関も被害をうけ、薬や注射の記録が全部流されてしまったからです。

患者さまは、薬の名前を覚えておられない方が大多数で、家族も薬の置き場所さえわかりません。そんな中、ドロで汚れ、津波でぬれてしわしわになった糖尿病手帳だけが、記憶もカルテの情報もない中で、唯一の情報源になったとのことでした。

この話を聞き、改めて糖尿病手帳の大切さを実感しました。また、患者さまにはできる範囲で、薬の名前や特徴（色、形など）を覚えてほしいと思います。自分だけでなく家族にも薬の置き場所を教えておくことや、何かの時にはすぐに持ち出せる工夫をしておくこと等もとても大切だと思います。

このことは、糖尿病手帳をもっている糖尿病の患者さまに限られません。血圧手帳、おくすり

手帳、抗凝血薬療法手帳、ペースメーカー手帳をお持ちで通院中の患者さまにも共通のことです。

この機会に「自己管理」をもう一度考え、是非、役立てていきたいものです。

あとがき

東日本大震災発生から、半年がたちます。復旧・復興は思うように進んでいないように思います。被災者の方に何かお手伝いができることはないかと思いましたが、わずかな義援金を送ることしか思いつきません。しかし、だれかが言っていました。しかし、だれかが言っていました。今自分ができることをキチンとやりとげることが被災者や被災地を応援することにつながるんだと。

みなさん、忙しさを理由におろそかになっていることはありませんか？（勉強、仕事、…）被災者、被災地の方に負けないように今を一生懸命がんばりましょう。がんばろー日本！